

令和6年第6回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和6年6月25日(火) 午後2時00分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 戸田浩二
- 4 教育長及び出席委員  
教育長  
教育委員 4名  
事務局 11名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題(議事) 以下のとおり
- 7 会議の概要
  - (1) 開会  
小沼教育長 午後2時00分開会を宣す。
  - (2) 議事録署名人の指名  
小沼教育長 戸田委員を指名する。
  - (3) 教育長の報告  
小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。  
小沼教育長 教育長のお務報告が終わりました。委員の意見を求めます。  
各委員 (特になしの声)  
小沼教育長 それでは、教育長のお報告については、以上のとおりとします。
  - (4) 議事  
小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第12号」、「報告第13号」及び「議案第31号」については、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思っておりますがいかが

でしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第12号」、「報告第13号」及び「議案第31号」の案件を非公開といたします。

【報告第12号】【報告第13号】【議案第31号】 非公開

小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長 笠間市含め、教育に関してお持ちのご意見について、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは鳥羽田職務代理人からお願いします。

鳥羽田委員 特別支援について考えていきたいと思っています。障害者の権利条約の第24条で障害の有無にかかわらず分け隔てられることなく共に学ぶ環境をつくっていくことが定められています。その中で多様な学びをつくっていくことが一つの課題となっています。具体的に多様な学びというのは、障害のある子どもの自立と社会参加を見据え、通常学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校など、いろいろな環境を整備していこうという内容です。その中で、笠間市も学習障害の通級教室ができて、環境が充実してきていると感じています。去年もお願いしていましたが、学習障害の通級の教室がもう少し増えてもいいのではと考えています。指導室の皆さんも取り組んでいただいていると思いますが、現場の要望として、学習障害の子どもたちがどのくらいいて、どのように組織していけば通級が増えていくのか、そういうところを考えていきたいと思っています。

小沼教育長 続いて、戸田委員お願いします。

戸田委員 先生の働き方について考えていきたいと思っています。先生に余裕がないと、子どもたちへの接し方にも余裕がなくなります。その結果として子どもたちが一番不利益を被るのではないかと思います。全体の行事などに関してもそうですが、まずは先生たちがな

んでも詰め込んでやるのではなくて、見直していく必要があると思います。コロナの流行に伴い、縮小して見直す機運があったと思うので、その際の経験を活かすこともよいと思います。保護者だった立場からから申し上げますと、子どもたちは義務教育で終わりではありません。高校、大学、社会人となり、社会に出ていくその時に必要なことを学ぶことが大切だと思います。小学校は、子どもが初めて「学校」に通うので、ここで何かあったら困る、ここで完璧にしておかないと思うのですが、高校、大学、と進むにつれて、だんだん考え方も緩くなってきて、子ども自身も選択肢や時間に幅が持てるようになるので、その時のために能力を高めておくことが大切だと思います。あまり義務教育の時点で子どもに求めすぎたり、詰め込みすぎても、逆効果になるのではないかと思いますので、そういった点を踏まえて、子どもや先生に余裕ができるような働き方について、考えていきたいと思えます。

小沼教育長

続いて、吉崎委員をお願いします。

吉崎委員

私の専門である学校教育に関心があります。パナソニック教育財団というのがあります。そこは研究助成を出してしまして、今年度、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・教育委員会の合計100の機関に助成をしました。そのスタートアップセミナーにおいて、60人の全国の教育学関係の研究者がアドバイスしています。私はその専門委員長として、3点ほど意見を述べました。1点目は、今の学習指導要領は10年に1度変わりますが、小学校・中学校・高等学校をつなぐキーワードは探究学習です。自分たちで課題を見つけて、それについて追求したり、フィールドワークをしたり、調べたりして、それをまとめて交流していくという形のものですが、探究学習を進めるには基礎が大事になります。去年亡くなられた、教育評論家で僧侶の無着成恭氏が、基礎を十分に身に着けて新しいことをやる人は「型破りの人」、一方基礎がなくて自由勝手にやる人は「形無しの人」で全然違うと言っています。基礎が重要で、ものごとを探究していこうとすると、自分に足りない基礎が何なのかよくわかります。書く力や読む力、計算する力、表にまとめる力など、様々な力が探究学習には必要です。習得・活用・探究といいまして、習得の基本は知識技能、活用はいわゆる思考力、探究は問題解決力、こういった能力の醸成が求められているということを先生方にも意識してほしいと思います。2点目は、次の指導要領では何がポイントになるかという自己調整学習であると考えられています。自分で自分の学習

をコントロールしていく力が必要だということです。GIGAスクールが始まって1人1台端末が導入されたことで、今までと学習環境は大きく変わりました。前はノートに記録するしかなかったものが、今では自分の学習の記録や画像などを簡単に残せるようになりました。例えば、授業の最後に、子どもたちに先生の板書を写真で撮らせて、それを振り返るということも可能です。そういう面で便利な要素が増えたことを踏まえて、自己調整学習をどのように進めていくかが、次の指導要領の最大のポイントだと思っています。3点目は、生成AIを学校教育でどこまで使ったらよいのかということです。この生成AIを活用した取り組みの最先端を走っているのが、つくば市立みどりの学園義務教育学校で、パナソニック教育財団が2年間の助成を行っています。来年つくば市で、全日本教育工学研究協議会全国大会が開催されます。そこに向けて、生成AIをどのように使ったらよいか、このような新たなものをどのように活用していくと有益なのかという研究が進められています。このような新たなものをどのように活用していったらよいのかということが重要だと思います。以上3点について考え、笠間市でも取り入れていけたらと思っています。

小沼教育長

続いて、菊池委員お願いします。

菊池委員

私は道徳教育に係る教員の勉強会に参加させていただく機会があるのですが、先日そこで、社会が変わると学校教育に求められるものも変わっていくという話になりました。ただ、学校教育のなかで変わってはいけないものもあるのではないかと、いわゆる「不易と流行」の話が出ました。そこについて先生方はどのように捉えているのかと想像をしたときに、悩んだり、迷ったりしている現状ではないかと捉えています。働き方改革とよく耳にしますが、「働き甲斐のある諸環境に改革をする」というのが本筋ではないかと思っています。それをするのに何が一番大事かという、教師自身の意識改革、これ以外にはないと思っています。先ほどお話しした会にいる若い先生方の中には、土曜日や日曜日に学校の仕事をやるなんて有り得ないという考えの方が会の中にもいました。この会に来るのも、校長先生に言われて仕方なく来ました、という感じでした。退職されて何年も経っている先生方は、そういう考えを持っていることが信じられないといった感じでした。このように職員間で大きな意識の差がある中で、職員室にいらっしゃる管理職の先生方は、それをどのように平らにしていくかということで、苦労しているのだらうと思いました。私は小学校も中学校も現場の職員として経験していますので、どちらかという現

場の先生よりの考え方をしがちなんですが、そういう私自身が意識を改革して、これからの教育委員会の業務にあたっていければと思っています。

小沼教育長

ありがとうございます。教育委員の方々の、それぞれの教育に関する思いとか、今考えていらっしゃることを意見として頂戴することは大事なことだと思い、今回伺わせていただきました。4ページに令和6年度の計画訪問のスケジュールがありますが、今後、委員の方々にたくさんの学校を見ていただいて、見学した時の思いをぜひお話ししていただければと思います。計画訪問のスケジュールについて、事務局より説明いたします。

事務局

4ページをご覧ください。中段になりますが、令和6年度の計画訪問のスケジュールがそれぞれ入っています。委員の皆様が訪問するにあたり、事務局として各学校のほうに事前に報告をいたしますので、1番右の欄「訪問連絡締切」の日付、当日の3日前になります。この締切日までに事務局まで、電話もしくはメール等でご連絡をお願いします。5ページをご覧ください。喫緊の計画訪問の詳細を載せています。今後も、同じように皆様に報告いたしますので、ぜひご確認いただき、ご自身の関心のあるところを含め、見学希望についてご連絡ください。説明は以上です。

小沼教育長

事務局より説明がありましたが、これはあくまでも計画訪問なので、指導案が出来上がって準備ができているということです。先日、鳥羽田委員とも話したのですが、普通の授業を見るのが1番いいと思っていますので、事前に事務局に連絡をいただければ、いつでも調整したいと思います。今、事務局と管理訪問、所課長訪問で帯同していますが、ある学校に行きましたら、前回の学力テストよりも各教科20点近く上がっていました。やはり、先生方が本気で取り組んでいるということで、6月の初めに同じ学校に抜き打ちで行った時には、すべての教室で課題はしっかりしており、子どもたちも落ち着いて集中して授業を受けていました。抜き打ちで行ってもあれだけできていますし、校長先生は、「いつでも見に来てください。」という話でしたので、やはり、先生方が本気になれば、数字的にもよくなりますし、学力は向上してくるのだと感じました。ほかの学校も回っていますが、一生懸命取り組んでいるのは見えています。その際に気が付いたことを事務局より話してください。

事務局

配布しているタブレットの活用について、小学生でもブライン

ドタッチで打っている姿もあり、日常的に使用しているのであろうと思いました。もちろん、低学年などまだタイピングが得意ではない児童もいましたが、方法をしっかり身につけたうえで、伸ばしていけるようにしたらよいと思います。ほかには、現物を使って、子どもたちがいかに興味関心を持たせ、技能を持たせるかという授業や、最後のまとめまで子どもたちとやり取りをしながら授業を進めるという授業を行っている先生など、各自が工夫して取り組んでいる姿がありましたので、今後計画訪問を通して委員の方々に見ていただく中で、気がついたことがありましたら、お話しいただければ、それを学校のほうへ伝え、次年度もしくは今年度中に改善できるものであるならば、改善できるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

吉崎委員

昨年、学習到達度調査PISAの結果が出ました。高校1年生の初めに行うので、中学3年までの学力になりますが、コロナという大変な時期を経験して、世界的に学力が落ちました。調査は、国語、数学、理科ですが、幸いにも日本は学力が落ちず、ほとんどが1位でした。どうして落ちなかったのかというと、GIGAスクールが導入されたことが理由だと思います。今回はコンピューターベースのパソコンテストを受けるようになっていますが、依然はその方式に慣れなくて点数が落ちたのですが、コンピューターベースのテストにもだいぶ慣れたことや、先生方の大変な努力により、オンライン授業などの実施で休校がほとんどなかったことが結果につながっていると思います。これは世界に誇ることで、このコロナ禍の中で学力が落ちないで、むしろあがったのはいくつかの国しかありません。だから日本の子どもの学力は、個人差はありますが、世界のトップにあります。ただ、前回の調査結果を見ると、笠間の最大の懸念は算数数学だと思います。もちろん点数が上がった学校もありますが、高校受験に不安の残る結果となっている学校もありました。これだけ差があると、習熟度別の学習を取り入れていくべきだと思います。今回の計画訪問では、どの程度、どのくらいの頻度で習熟度別の学習を行っているのか、何校か見せてもらおうと思っています。事務局は、算数数学の習熟度別の学習状況をどのように考えていますか。

事務局

習熟度別学習は、学級数によって取り組み方が異なってくることや、空き教室やスペースの問題により、これまでと同じように取り組んでいる学校、同じ時間帯に時間割を合わせて始めている学校などがあるようです。ただ中学校では、委員会としては推奨していますが、なかなか習熟度別学習が進められていないという

のが現状かと思えます。

吉崎委員 以前から、笠間は比較的国語はいいのですが、数学は、市内学校間の格差が大きいです。特に中学校です。高校受験に向け持ち直していくために、教育委員会としてどのように関わっていますか。

事務局 計画訪問だけではなく、関係する指導主事の方で、方法的なものや校内研修のやり方も含めて指導を行っています。受験は刻一刻と迫ってきていますので、その都度学校の要望に応えながら進めていきたいと思っています。

小沼教育長 今後訪問指導をするときは、行政側からの意見等をよく踏まえるように。6月まで見た範囲では、小学校は算数の習熟度別学習をやっている、子どもたちは生き生きと取り組んでいます。やはり課題は中学校だと思います。中学校の数学の授業を習熟度別にできるかどうかで変わってくると思いますので、その辺は進めていきたいと思っています。

小沼教育長 そのほかございますか。

各委員 (特になし)

#### (6) 閉会

小沼教育長 午後2時38分閉会を宣す。

#### 10 議決事項

報告第12号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第13号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第31号	笠間市スポーツ推進審議会委員の任命について	可決